



仙台市学校教育情報化推進計画（令和5～9年度）

「これからの社会を、たくましくしなやかに生き抜く力を育む」
～子どもたちが主体的に学び取るために～

令和8年度 行動計画

【重点項目編】

令和8年度行動計画にある様々な取組の中で、学校と教育委員会が重点的に取り組む項目をまとめた資料です。

令和 8 年度行動計画【重点項目編】について

「仙台市学校教育情報化推進計画（令和 5～9 年度）」に定められた 4 つの基本方針に基づく取組を着実に実施することで、令和 9 年度までに定められた目標の達成を目指している。

そのため、教育委員会と学校が令和 8 年度に具体的に取り組むべき内容を「令和 8 年度行動計画」として策定した。

本資料は、その中から積極的に取り組む内容を「令和 8 年度行動計画【重点項目編】」として取りまとめるとともに、推進計画の指標の向上に資する端末の活用方法として、場面に応じた使い方の目標を「場面ごとの端末活用目標」として設定したものである。

令和8年度行動計画【重点項目編】

基本方針1

「児童生徒が、ICTを適切に使いこなし、生涯学び続けるための資質・能力の育成」

(2) 指導・学習のためのICT活用

	教育委員会	学 校
端末活用	【個別最適な学び】 ● 教育用クラウドやデジタルドリルの、より実践的な活用事例を提示する。	【個別最適な学び】 ● 活用事例を参考に、教育用クラウドやデジタルドリルの積極的な活用を推進する。
	【協働的な学び】 ● 授業支援ソフトウェアを活用した、より実践的な授業事例を提示する。	【協働的な学び】 ● 授業事例を参考に授業支援ソフトウェアを活用し、児童生徒同士がやりとりする場面での端末活用を推進する。

令和8年度行動計画【重点項目編】

基本方針2

「教員のICT活用指導力を高めるための支援体制の充実」

(1) 教員に求められるICT活用指導力等の向上

	教育委員会	学校
研修	<ul style="list-style-type: none">● 教員スキルの変容を把握し、研修におけるICT活用実践に関する内容を充実させ改善を行う。	<ul style="list-style-type: none">● 所属教員の活用状況・スキルに応じた、ICT活用実践に関する校内研修を実施する。
生成AI	<ul style="list-style-type: none">● 生成AIの利活用について、具体的な取組や活用例を提示して、利活用を推進する。【新規】	<ul style="list-style-type: none">● 生成AIに関して、教育委員会研修や校内研修などを受講し、生成AI活用の促進を図る。【新規】
デジタル	<ul style="list-style-type: none">● 活用研修等の支援を行い、教員がデジタルドリル及びその学習履歴を活用した取組を推進する。【新規】	<ul style="list-style-type: none">● デジタルドリルに関する研修を受講し、授業等での使用や学習履歴を踏まえた授業改善に取り組む。【新規】

令和8年度行動計画【重点項目編】

基本方針3

「ICTを活用するための環境整備」

(1) 安全・安心なICT環境の構築

教育委員会

環境整備

- 1人1台端末や授業支援ソフトウェア等を快適に利活用できるよう、ネットワークを定期的にモニタリングを実施・検証し、課題の把握と対策を行う。
- モニタリングで把握しきれない課題について、より詳細な調査(ネットワークアセスメント)を実施する。**【拡充】**

令和8年度行動計画【重点項目編】

基本方針4

「学校情報化の推進とICT活用の推進体制構築」

(2) 教育の情報化に関する推進体制

	教育委員会	学校
校務DX	<ul style="list-style-type: none">クラウド基盤を取り入れたデータセンター基盤の構築や、校務端末の無線化など、教員の柔軟な働き方ができる業務環境を構築し、計画的に順次移行する。【新規】	
保護者理解	<ul style="list-style-type: none">ICTや生成AIの活用について家庭向けの文書を準備するなど、家庭の理解を深められるよう支援する。【拡充】	<ul style="list-style-type: none">ICTや生成AIの活用に関する家庭向け文書を配布するとともに、学校のおたより等で児童生徒の活動の様子を積極的に周知するなど、保護者の理解を深められるよう努める。【拡充】

場面ごとの端末活用目標

項目	R7 現状	国KPI (R8)
児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小81.3%	100%
	中71.5%	
児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小63.5%	80%
	中49.2%	
教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小71.2%	80%
	中55.5%	
児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小53.4%	80%
	中38.0%	
児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率	小66.1%	80%
	中49.2%	

※高等学校および中等教育学校等は、学校ごとに活用促進に係る主な取組を設定する。

※文部科学省「教育DXに係る当面のKPI」を参考に策定した。

令和9年度までの行動計画 今後の展望

~~令和7年度~~

令和9年度

<p>基本方針 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1人1台端末を活用した授業の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対話や考えの共有を取り入れた授業の実践 ・ プログラミング授業の実践 ・ 教科等横断的な学習を取り入れた授業の実践 	<p>児童生徒の情報活用能力育成</p>
<p>基本方針 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT活用を前提とした授業づくり等の研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報リテラシー向上(生成AIを含む) ・ 教員同士の学び合い促進によるスキル向上 	<p>教員のICT活用指導力向上</p>
<p>基本方針 3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダッシュボードや学習履歴を活用した児童生徒支援の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1人1台端末の更新 ・ 次世代校務DX環境の推進 	<p>ICT活用環境整備</p>
<p>基本方針 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTを活用した働き方改革の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学や民間事業者との連携 ・ 家庭や地域の理解促進するための取組充実 ・ 市内教育施設との連携 	<p>ICT活用推進体制の構築</p>